

文化財構想の在り方



持原 秀行

質問 天辰第一地区土地区画整理事業地内において、墳丘古墳の石室が発見された。これは学術的にも非常に貴重で重要なものと考察し、郷土の歴史的遺産・貴重な資源として現地保存し、後世へ伝える事が私達の責務と考える。市内に存在する市民の共通財産である文化財保護の今後の推進方法について考え方をお示しいただきたい。

答弁 天辰寺前古墳については、本市の万代の歴史を誇る上で非常に貴重な発見と認識しており、保存方法としては、現地保存、移設保存、記録保存等があるが、来年、現地調査をお願いしている文化庁の専門家の文化財的価値に対する見解を踏まえて検討したい。また、文化財保護については、関係機関と連携を図りながら、その徹底と啓発に努めるとともに、歴史・文化的資源を生かした薩摩川内市の史跡・文化財の探訪ルートを設定し、観光・レジャーとのネットワーク化を図り、文化財の活用を積極的に推進していきたい。

甌島観光の今後の展望について



中島 由美子

質問 船から降りた後、初めて来島された方にとっては、交通網が不案内である。上甌島においては、利用しやすいレンタサイクルの整備が、また、甌島全体においては、バス等の行き先案内や時刻表案内の環境整備がそれぞれ必要と思うが、できないか。



薩摩川内市観光協会甌島案内所

答弁 上甌島のレンタサイクルは、現在、上甌支所に三台、観光協会甌島案内所に四台、計七台を配置している。夏場の利用はある程度

あるものの、年間を通じると、まだ少ない状況にあるので、内外へのPRに努めたい。なお、設置台数を増やすかについては検討課題であるが、利用率向上策として、電動アシスト自転車の配置を検討したい。

下船後の交通アクセスについては、現在実施中の「甌島地域における新たな公共交通体系構築調査」においてその対策を検討中である。当面の改善策として、甌島地域各港のバス停時刻表及び市営バスの車体側面に、それぞれ路線上にある主な観光地を表示するほか、各港待合所、フェリーニューこしき及び高速船シーホークの船内に島内の観光地に行きやすい、分かりやすい時刻表を早急に掲示したい。

生涯現役推進を積極的に進めるまちづくりについて



川添 公貴

質問 安心・安全な生活環境整備としてPPK運動施策は多く実行されている。高齢社会に対し、市長は限界集落支援に重点を置かれているが、全高齢者へ更なる支援・参加型や現役として社会貢献

の場の創設、生きがいづくりの維持・推進できる環境整備をどのようにするか。また、今後シティセールスの一部として「生涯現役世代を積極的に進めるまち」で薩摩川内市を売り込みたいが、市長の見解を伺う。

答弁 生涯を通じた高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、高齢者の雇用、就労対策として、シルバー人材センターの運営を支援している。また、高齢者の自立した生活を支えるための在宅福祉サービスも実施している。

歴史・文化・観光・自然さらには生涯現役として暮らすことのできる本市の事業、取組などを取りまとめ、統一したハンドブック、マニュアルを作成し、本市に行きたい、買いたい、暮らしたいという気持ちの誘因を図りたい。

シティセールスの推進について



瀬尾 和敬

質問 最近、シティセールスに関して精力的に広報宣伝活動が行われている。新幹線全線開通までに、